

黒豆生育並びに病害虫発生状況

2026/8/18

		柏原	氷上	山南	青垣	市島	春日	平均
主茎長(cm)	7月28日	33.9	47.1	8.1	24.8	25.0	28.1	27.8
	8月18日	69.6	56.7	31.8	66.9	64.3	74.4	60.6
主茎節数(節)	7月28日	12.5	14.2	3.0	14.2	8.5	9.6	10.3
	8月18日	15.5	17.4	9.5	18.7	14.6	15.2	15.2

調査地点	病害						虫害								
	ウイルス病 (%)	さび病 (%)	べと病 (%)	葉焼病 (%)	その他 (%)	立枯病 (%)	ハスモンヨウ(頭/株)	フキノメイガ(%)	サヤムシガ(%)	カメムシ類(頭/株)	鱗翅目幼虫(頭/株)	フタスジヒメハムシ(%)	その他	ハダニ(頭/小葉)	アブラムシ(頭/小葉)
柏原	0	0	0	0	0	0	0	15	5	0	0	0.2	0	0	0
氷上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山南	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青垣	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.15	0	0	0	0	0
市島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
春日	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0
平均	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【コメント】
カメムシ類の防除時期に入っているが、カメムシが発見されているほ場があり、定期的な防除が必要である。
フキノメイガやサヤムシガによる茎の食害(食入)があみられるほ場があり、発生ほ場ではカメムシ類防除に加えてチョウ目害虫の防除も併せて行う必要がある。
病害については、ウイルス病の発生が一部でみられる。例年、ほ場による発生病害の差がみられるため、立枯性病害の多発ほ場では農薬の予防散布を行う。